



ゆりの木

日野市立病院報

Vol.13 平成26年4月発行

発行/編集・日野市立病院(広報委員会)
〒191-0062 日野市多摩平4-3-1
TEL 042-581-2677(代) FAX 042-587-3408(代)
http://hospital.city.hino.tokyo.jp/

医療安全管理室だより No.13

MRI検査を受ける時には注意してください

MRI検査を受けたことのある方はご存知かと思いますが、MRI検査は強力な磁石と電波を使い体内の状態を断面像として描写する検査です。よって、検査機器が様々な金属に反応することになりますので、十分な注意が必要となります。例えば、体内にペースメーカーや脳動脈瘤の手術で使ったクリップ(20年以上前のもの)が入っていると、磁石と電波に反応し熱を生じることがあり大変危険です。ですので、ご自分の検査や手術既往歴を十分に把握した上で検査を受けてください。

金属は入っていませんか？



医療者側も情報収集は十分に行ってはおりますが、稀に患者さんからの情報が不足していることで、危険に曝されることがあります。最近では、脳室腹腔内シャントチューブを使用しているという申告がなく、体内に金属は何もないという患者さんの返答から、危うく検査を実施しそうになったというケースが当院でありました。

検査が決まりましたら注意事項について十分に目を通し、「昔手術をした時に金属を入れたかもしれない…」と思ひ当たるとしたら、ぜひ担当医師にお申し出ください。

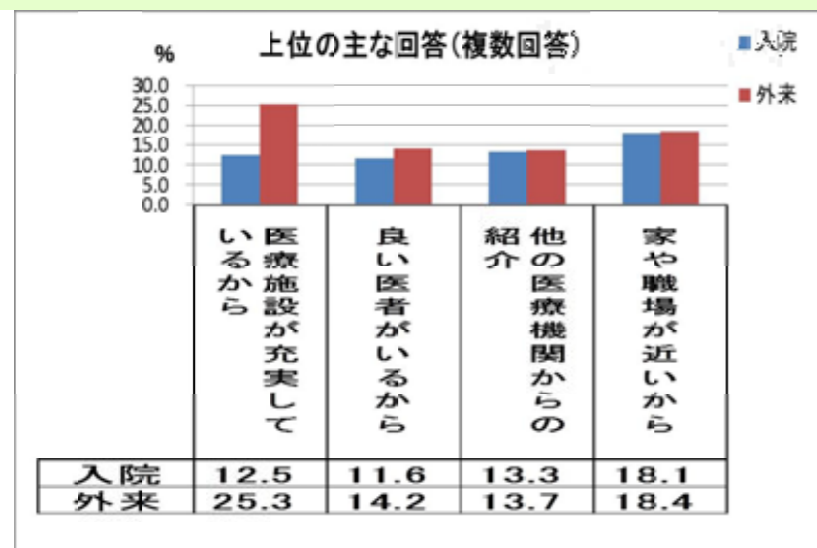
患者満足度調査を実施しました

当院では、毎年入院された患者様及び外来を受診された患者様に、サービスの向上を目的として、「満足度調査」にご協力いただいております。平成25年度の調査について、結果がまとまりましたので報告させていただきます。(詳しくはホームページをご覧ください)

【調査期間】

- 入院患者満足度調査
平成25年9月17日(火)から9月30日(月)
- 外来患者満足度調査
平成25年10月21日(月)から10月23日(水)

当院を選択いただいた理由



入院部門では、「家や職場が近いから」が最も多く、外来部門では、「医療施設が充実しているから」が最も多い結果となりました。当院では、日野市立病院第2次改革プランのもと診療体制のさらなる充実を目指し、地域に密着した医療サービスを提供するため、近隣医療機関との連携の充実に努めております。これからも“市民の皆様から信頼され選ばれる病院”を目指して努力して参りたいと思います。

全体評価について

- 施設面では、売店、食堂や駐輪場で多少不満との評価をいただいておりますので、今後改善課題として取り組む予定です。
- 診察サービス面では、待ち時間が長いことや入院時の食事内容が不満との評価を多数いただいております。今回の調査でのご意見を参考に改善点を見出していきたいと思ひます。
- 接客面では、おおむね高評価をいただいておりますが、言葉遣いや態度等接客全般において今後とも更なる向上を図ります。

おわりに

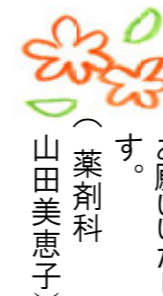
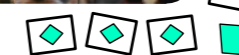
今後も「患者満足度調査」を継続して行い、ご利用される皆様に満足していただけるようサービスの向上に努めていきたいと思ひます。ご協力いただきました患者様、並びにご家族の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

患者サービス推進委員会



院内コンサート開催

平成25年12月16日(月)に1階ラウンジにてクリスマスコンサートを開催しました。このコンサートは毎年恒例！職員が様々な楽器を使って演奏します。リコーダー、ピアノ、ハンドベルなどの演奏にみなさん楽しんでいました。



■編集後記
雪かきに追われ、寒い冬も終わり、待ち遠しかった春の訪れを感じております。今号で『ゆりの木』は創刊より3年目を迎えることができました。今後もみなさまにより楽しんで頂けるような情報を発信していければと思ひます。よろしくお願ひいたします。
(薬剤科 山田美恵子)

第17回市民公開講座を実施しました

平成25年12月7日(土)に「長引く咳のお話～咳から始まる肺病の診断～」のテーマで市民公開講座を開催しました。当日は100名近くの方が来場され、呼吸器の病気を専門とする峰松医師、大澤医師、君塚医師の三名による講演を熱心に受講されておりました。当院では定期的に各診療科の医師による市民公開講座を開催しています。日時、テーマ、参加方法の詳細はホームページや広報ひのに掲載予定です。



◆オープンホスピタル開催のお知らせ◆



日野市立病院では、将来医療機関関係の職業に従事することを考えていたり、病院の仕事に関心のある高校生を対象に、夏休みを利用して病院施設見学会「オープンホスピタル」を開催します。詳細は今後ホームページ等でお知らせします。

ちょっと知っておきたい話

肺炎球菌ワクチン

ご高齢の方や小さなお子様にとつて肺炎は怖いものです。『肺炎球菌』は肺炎の原因菌として最も多く、また重症化しやすいため特に注意が必要です。肺炎球菌は肺炎の他、中耳炎や副鼻腔炎、菌血症 血液に菌が侵入)、髄膜炎などを引き起こすこともあり、特に菌血症と髄膜炎は高齢者や小児を中心に重篤な病状を生むことから、国がその全数把握に努めています。



呼吸器内科担当部長
峰松 直人 医師

菌ワクチンを使用します。23価とは肺炎球菌の90種類以上ある型の中で23の型に対して効果があるという意味で、このワクチンで肺炎球菌感染症の約80%に効果があります。ワクチン接種により肺炎球菌への感染や重症化を減らすことができ、1回のワクチン接種で約5年間効果が持続します。ただし、このワクチンは肺炎球菌の一部やそれ以外の細菌に対して効果がない点は誤解しない様、注意が必要です。65歳以上の高齢の方、慢性的呼吸器・心臓・腎臓病や糖尿病、免疫力の低下する疾患や治療をお持ちの方、脾臓機能異常のある方などに接種が勧められます。以前は生涯で1回だけの接種と限定されていましたが、現在では5年ごとの再接種が推奨されます。この23価ワクチンは過去25年間に500万人の日本人が

接種を受けていて、死亡例などの重篤な副作用は報告されていません。小児に対しては平成25年度から小児用肺炎球菌ワクチンがヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチンとともに定期予防接種に組み込まれました。両ワクチンは小児髄膜炎の予防に重要であると考えられています。また、小児用肺炎球菌ワクチンは平成25年11月からそれまでの7価から13価ワクチンに変更されました。



成人用23価肺炎球菌ワクチンは一部の場合を除いて自費での任意接種ですが、今後は高齢者への定期予防接種となっていく見込みです。当院2階の健診センターでワクチン接種の予約を承っておりますのでご希望の方はお問い合わせください。

透析室のご案内

ナースコール(看護部だより)

No.13

透析とは、正常な働きができなくなった腎臓の代わりに、機械を使い体内の老廃物や、水分を取り除く治療法です。透析には、血液透析と腹膜透析の2種類があり、当院では、患者さんのライフスタイルやご希望に合わせていくつかの治療法を選択できます。

血液透析は、週3回、1回3時間から4時間の透析を病院で行う方法です。患者さん1人ひとりに担当看護師がおり、長い時間ベッド上で過ごす患者さんの状態や、表情、会話を通して、患者さんが何を必要としているか、患者さんの立場に立つて考え看護しています。また、臨床工学技士も常におり、機械トラブルが無い様に点検と整備を徹底し、安心・安全な透析療法が提供できるよう日々努力をしています。

腹膜透析は、患者さん自身の腹膜を用いて行う方法で、自宅や職場で行える透析療法です。患者さん1人ひとりに担当看護師がおり、月1回の通院時に、体調の観察を行い、日常生活で困っている事やトラブルなどに対し、患者さんの生活に合わせた情報提供や指導、提案をさせて頂いています。



透析室 副看護師長
杉本 真紀

透析療法をしながら、自分らしく生活できる様に、共に考え、透析治療を継続できるようお手伝いさせて頂いています。

第1回 栄養士のアンポイント講座000

ヒトと食塩

その1

昨年の最も長寿な県、それは長野県です。では長野県は元々長寿の県であったかという点、そうではないそうです。50年未満の年齢で死亡する人は、全国9位、女性は26位であり、脳卒中の死亡率に関しては全国1位と、決して長寿の看板を背負えない県とは言えない状況でした。ではどのようにして長野県は長寿の県となったのでしょうか?その答えのひとつに「食塩」が関わっています。

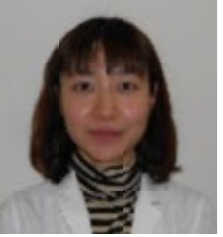
当時の長野県民は、厳しい冬に食物を保存するために塩辛い食べ物が多く、食塩を摂る量はなんと1日当たり30gです。(醤油に換算してコップ1杯分)それが高血圧の原因のひとつであり、脳卒中中につなげたと言われています。この状況を解決するべく、長野県は医師、保健師、栄養士による減塩講座や生活指導、料理教室など、減塩運動を果敢と必死に行い、30年経った現在、日本一の長寿県となったのです。次回、食塩が高血圧やその他病気とどう関わっているかについてお話しします。(栄養士 松田清也)



- 氏名
- 医学部卒業年
- 専門分野
- 趣味
- ひとこと



- 瀬戸 貴之
- 2010年
- 整形外科一般外傷
- スポーツ、ドライブ
- よろしくお願いします。



- 大井 裕美子
- 2011年
- 皮膚科一般
- 美味しいものを食べる
- 笑顔で丁寧な診療とわかりやすい説明を心がけます。

病院概況

平成25年	外来患者数 (人)		入院患者数 (人)		救急車による患者数	紹介率 (%)	手術件数
	延べ	1日平均	延べ	1日平均			
7月	18,062	821.0	6,935	223.7	226	41.8	296
8月	16,982	771.9	7,065	227.9	248	36.9	278
9月	15,908	837.3	6,890	229.7	199	41.6	258
10月	18,048	820.4	7,778	250.9	252	42.6	343
11月	16,658	832.9	7,390	246.3	226	44.5	298
12月	16,704	879.2	7,718	249.0	234	42.6	330